事例No.	2049
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	静岡県菊川市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT

事例種類	子育て

事例内容・タイトル

言語による意思疎通の壁を取り払う翻訳アプリの導入

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

69 言語による意思疎通の壁を取り払う翻訳アプリの導入【静岡県菊川市】

事業の概要

○　菊川市では、日本語での意思疎通が難しい外国人の親が、幼稚園等における連絡網を活用することができず、天候等による休園連絡などの情報伝達が上手くいかないという課題があった。

○　そこで、市営幼稚園において、多言語同時翻訳アプリである「kotozna」を導入し、翻訳機能を利用した情報伝達、情報共有を行うことで言語の壁を取り払い、円滑なコミュニケーションを可能にする実証実験を行っている。

○　なお、当該アプリは、109か国語に対応しており、市において需要が高いポルトガル語などにも対応している。





【参考情報】 人口：4.8万人
関連URL：　ー

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（菊川市）

大雨やコロナウイルス感染症など急な休園の連絡が外国人の保護者に対してできない課題を解決するため、多言語同時翻訳アプリを導入し、実証実験をすることにしました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



実証実験のため、支援制度は活用していません。



実証実験の結果はどうでしたか。



急な連絡や簡易なやり取りが可能となり、一定の成果はあったと考えていますが、多言語同時翻訳の精度は「kotozna」に限らず日々進化しており、本市の形態に何が一番適しているか検討しながら新しいアプリについても研究していきたいと考えています。

★担当：菊川市企画財政部 企画政策課★

令和3年度事業費　19千円